

関係機関の長 殿

独立行政法人国立高等専門学校機構
奈良工業高等専門学校長
谷口 研二 (公印省略)

教員の公募について (依頼)

貴機関におかれましては、時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
さて、このたび本校では下記のとおり一般教科(数学)の教員を公募することになりました。
つきましては、貴機関関係者への周知方並びに適任者のご推薦について、よろしくお願い申し上げます。

記

1. 職名・人員 准教授，講師または助教 1名
2. 所属学科 一般教科(数学)
3. 担当科目 数学，および数学関連科目
4. 応募資格
 - (1) 本校の教育方針に賛同される方で，本校在籍の教員および非常勤講師と協力して学生教育を進められる方。
 - (2) 心身ともに健康で，高等専門学校における学生指導(学級担任，クラブ顧問，寮生指導など)に熱意を持ってあたり，本科及び専攻科の教育と研究の両立ができる方。地域貢献(公開講座や出前授業など)にも積極的に取り組める方。
 - (3) 高専の学生に数学およびその科学や工学への応用，工学専門科目に関わる数学的な質問への対応，編入試験に関わる対応のできる方。
ご本人についても数学の専門知識のみならず科学・工学の知識を有し，興味を持っている方。
 - (4) 数学の授業以外に，数理融合科目を担当できる方。その授業方法としてアクティブラーニングをカリキュラム段階から計画・実施できる方。
 - (5) 博士の学位を有する方。(着任時まで取得見込みの方を含む。)
 - (6) 過去5年以内に1編以上の著書・査読付き論文等を有する方。
 - (7) 教育経験がある方、高等学校教諭の免許状を有する方が望ましい。
 - (8) 日本語以外を母語とする方の場合，授業および学内の会議や事務手続き等に十分な日本語運用能力を備えていること。
5. 採用予定日 平成27年4月1日
6. 提出書類
 - (1) 履歴書(a原則日本語により自筆で記入。b写真を貼付。c高校卒業以降の学歴，職歴を明記。d学士以降の学位の名称・取得大学名および取得年月を明記。e教員免許等の資格の明記。)
 - (2) 研究業績一覧(著書・論文・口頭発表に分け，査読の有無にて分類・明記のこと。書式は任意)
 - (3) 主要著書・論文等の別刷(3編以内，コピー可)
 - (4) 教育歴一覧(機関名・授業科目・期間・週当りの時間数を記入し，シラバスや授業アンケート結果があれば添付すること。アクティブラーニングやグループ学習の実践経験があれば，その内容がわかる文書を添付すること。書式は任意)
 - (5) 高等専門学校における教育と学生指導に対する抱負(A4用紙1枚・1500字程度，書式は任意)

- (6) 着任後の研究計画（A4用紙1枚・1500字程度、書式は任意）
 (7) 照会可能な方2名の氏名および所属機関・電子メールを含む連絡先（書式は任意）。
 (8) 推薦者がいる場合は推薦書
 ※応募書類は原則として返却致しませんが、返却を希望される場合は、宛名、送付先を明記した宅配便の着払用伝票を同封して下さい。
 後日着任手続きのために電子ファイル形式での書類提出をお願いします。
7. 応募締切 平成27年2月4日（水）必着
 8. 選考方法 第1次選考 書類審査
 第2次選考 第1次選考合格者を対象に面接審査および模擬授業
 （平成27年2月下旬頃を予定）
 （面接および模擬授業に伴う旅費、宿泊費等は応募者の負担とします。）
 ※本校では「男女共同参画社会基本法」の趣旨に則り、業績等が同等と認められる場合は女性応募者を優先させていただきます。
9. 問い合わせ先 奈良工業高等専門学校 一般教科主任 榊原 和彦
 Tel:0743-55-6063, FAX:0743-55-6019
 E-mail:koubo2014@libe.nara-k.ac.jp
10. 書類提出先 〒639-1080 奈良県大和郡山市矢田町2番地
 奈良工業高等専門学校総務課人事係 Tel:0743-55-6014
 （封筒に「数学担当教員応募書類在中」と朱書きの上、特定記録で郵送願います。）

（参考）

◆ 奈良高専の教員が携わる授業以外の職務概要

本校には本科（5年）と専攻科（2年）があります。高専はその教育目標や学生の年齢層（本科：15～20歳，専攻科：20～22歳）の幅広さなどから、大学や高等学校とは本質的に異なる点があり、教員は、教育、研究、学校運営、学生の生活指導など多様な業務を要求されます。以下では、奈良高専の教員（一般教科）の授業以外の職務についての認識を深めていただくために、主な職務の概要を記します。

① 学級担任

学級担任は、一学級40人程度の学生への勉学や生活指導など、学生生活全般にわたるきめ細かな指導を行います。例えば、ホームルームや教室清掃をはじめスポーツ大会や高専祭など各種行事での指導、学生の個人面談や保護者との懇談なども行います。

② 学校運営のための各種委員会

教務委員会、学生委員会、寮務委員会をはじめ各種の委員会があり、教員は委員として学校運営に参加します。学級担任との兼務あるいは複数の委員会に所属することもあります。すべての教員は何らかの委員会に所属し、委員会の業務を分担して行います。

③ 研究

高専の教員には、最先端の教育を行うために研究に対する意欲的な姿勢と研究成果を教育や地域社会への貢献につなげることが期待されています。また、独立行政法人大学評価・学位授与機構による業績審査を5年に1度受けることになっています。

④ クラブ顧問

ほぼすべての教員がクラブ顧問としての日常的な課外活動指導をはじめ、各種コンテストまたは高専体育大会（地区大会・全国大会）の運営や各種大会および練習試合の引率、合宿時の指導などを行っています。

⑤ 学生寮の宿直

原則として全教員が交代で学生寮の宿直を行い、巡回・点呼、緊急時の対応などにあたっています。

⑥ その他（数学教員の場合）

年間に複数回の入試問題（数学）の作成と採点。

◆ 奈良高専における数学教育について（参考）

本校では、入学当初から幅広い工学的知識を身につけ、実践力を備えた技術者を養成するための教育を始めることになります。そのためには数学の基礎知識を身につけ、数学的思考に慣れ、自主的、継続的に学習していく力を早く身につけることが重要になります。

本校の1年次は数学の基礎として初等関数、図形と方程式・不等式、集合と論理、場合の数などを学びます。2年次には微分積分、線形代数の基礎を学びます。ここまででおよそ高等学校の履修内容を終えます。3年次には授業時間の半分が工学の専門科目となりますので、それに対応できる数学力を付けさせることが必要です。3年次は大学工学部初年程度の微分積分、線形代数を学び、4年次は応用数学として、複素関数、フーリエ解析、ラプラス変換、確率・統計を学ぶことになっています。

このように4年間にわたって学生達の学力を継続して高めていくためには、どの学年に対しても授業中の説明を丁寧に行うことはもとより、こまめに課題や小テストを実施したうえで、放課後の指導も必要です。学生の意欲を引き出すため、数学と専門教科とのつながりも意識しながらの授業や、アクティブラーニングの実践も必要です。将来的には科学系・工学系との融合科目を担当していただく可能性もあります。したがって教員は、自らの専門だけでなく幅広い興味を持っていることが期待されます。

なお、当数学教室では頻繁に情報交換の機会をもっており、教員同士が協力しながら数学教育を行っています。また学生達の興味を引き出すため、放課後に授業以外の内容でのセミナーを行っています。さらに地域貢献として学外の科学関係の行事にも参加しています。

これからの本校の数学教育に他の教員と協力しつつ積極的に取り組んで頂ける方の応募を望んでいます。

以上